

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.5	BEEランク	A
建物名称	(仮称)伊藤興産札幌ビル	総合評価 ★★★★★			
建物用途	物販店,病院,				
延床面積	2,503.25 m ²				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策

最重点項目

省エネルギー ★★★★★

省資源等 ★★★☆☆

緑化 ★★★★★

雪処理 ★★★★★

レーダーチャート

この建物は特に **雪処理** が優れています

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー		合計	16点	／24点
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 3.0	
Q1 光・視環境	スコア 1.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0	
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 8.0	
		LR1 効率的運用	スコア 2.0	
B 省資源等		合計	15点	／23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 7.0	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0	
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.0	
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0	
C 緑化		合計	8点	／16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0	
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 5.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0			
D 雪処理		合計	3点	／3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0	

4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー ・北面大通りに面した待合空間は、カーテンウォールにより屋光が十分に得られるとともに、Low-eガラスにより、十分な断熱性を確保している ・空調室外機に高効率型、換気設備に全熱交換器を採用。		
B 省資源等 ・S造における乾式工法により、建物解体の際も容易にしている ・地下の既存躯体を利用し、省資源に配慮している。 ・節水型の衛生器具を採用。	C 緑化 ・商業エリアにより、緑化は確保していない	D 雪処理 ・道路に面した部分、及び敷地内通路は融雪ヒーターを施し、利用者に配慮しているとともに、敷地外に雪を出さない配慮を行っている ・ルーフヒーティングを設置し、雪斧が出来ないように配慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される